

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 まっしろ		公表日		
				令和 8 年 8 月 24 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	リハビリや運動時に1階と2階に分かれて活動することで広くスペースを取ることが出来ている。部屋を代えることでダイナミックに動くことも出来ている。	職員の人数が少ない場合には1階で過ごすことが多く、その時は活動時や食事の際に狭く感じる。今後定員が増えた時に工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			活動や送迎時にはぎりぎりと感じることが多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリー構造、扉に開閉予防の措置が備わっている。課題が見つかった時に話し合っで改善している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		無回答 1 トイレ介助後の換気、児に合わせたクッション素材の物品を使っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		体調不良者を1階と2階に分けて過ごすことが出来ている。	必要時はフェンス等で隔離環境を作り、他利用児と離して過ごしてもらうことでできている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		無回答 1 職員同士が声掛けや相談を共有できている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定期的な職員間でのミーティングを設けられていない	朝礼、終業時に気付いた事、利用者の状態の確認、反省等話し合いは行えているが、時間を取って話し合いが出来るようにしたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	無回答2	今後監査予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月行えている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		無回答 1	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	インフォーマルなアセスメントが主になっている	話し合ったことや問題点など、記録として残していく。形式的な評価も必要であると考ええる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		看護師、保育士、リハビリ職と一緒に立案できている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化しないように考えているが、出来ることが限られていると感じることもある。	多職種の意見を取り入れた活動を増やしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りをする時間が設けられていない	終礼時に話し合う時間があるが、時間を取って細かく評価する時間が取れていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		連絡ノートにその日の様子を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		絵カードの提示やおやつ選択など行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		年間計画を画面にて受け取り、変更あれば連絡をもらっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	無回答 1	就学に伴って利用開始した児がまだいないが、今後利用児がおられたら対応していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	無回答 1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	無回答 1	研修も検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	無回答 1 幼稚園と交流する機会があったが、機会がより増えていくといいと思う	同年代との関わりをより増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	無回答 2	参加する機会がないが、今後機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳での報告や、送迎時に直接話をする機会を設けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	無回答 1	他施設や他事業所から頂いた資料、チラシ等を利用者家族に配ることはあった。今後も聞かれる情報を発信していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		無回答 1	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2		親子活動の機会を設けているが、きょうだいが交流する機会はまだないため、今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	無回答 1 苦情があった場合を想定した整備が整っていない	問題点等があった場合は、事業所内で周知するようにしている。苦情があった場合も早急に対応出来るようにしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタにて情報発信している	インスタで日々の様子を発信、毎月1回行事予定を家族に配っている。今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		表情や行動などから意思を読み取るよう、学校や保護者と情報共有している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	他事業所との交流はあるが、地域を招待する会は開かれていない	高齢者施設と事業所を行き来して交流できているが、他施設や地域との交流も検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		無回答 1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		あまりヒヤリハット報告を出来ていない	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		無回答 1 日々の業務日誌に時間ごとの身体拘束時間を記録している	